

2012年6月7日

Free Market of・by・for Wisdom

Voluntary Open Network Multiversity

知の市場

—講座の概要—
(2012年度)

人間は多様なリスクに曝される中で技術革新や制度改革そして人材改新を通して社会変革を成し遂げながら生活してきた。しかし日本も世界も未だ多くの課題を抱えている。こうした中において自らを活かしていくために社会と世界の現況に対する理解を深めそして専門分野の展開の幅広い基盤を固めるべく、広範な教養を高めていくことが必須である。

社会の幅広い領域において諸々の機関が人々の多様な要請に応じて学習の機会を提供している。また、多彩な背景を持つ人々がそれぞれの立場で役割を担いつつ勉学に励んでいる。こうした力を糾合して新たな総合的かつ実践的な学習の機会を創成するべく「知の市場 (FMW : Free Market of・by・for Wisdom)」を構築した。

2004年度に「化学・生物総合管理の再教育講座」として開講して以来2010年度後期まで7年間にわたり、総合的かつ実践的な学習の機会を提供してきた。そして全国から大きな反響を得るとともに、75の開講機関や連携機関との協力関係を構築しつつ延べ2,873人の講師や延べ14,377人の応募者の人の輪を形成してきた。この成果を踏まえて2011年度は全国にさらに新たな展開を図り、654名の講師が参画して全国30拠点で79科目(99科目相当)を開講し、3月11日の東日本大震災の影響により減少したが、2,756名の応募者が参加した。

その中で「共催講座」は、「知の市場」の理念と基本方針に沿いつつ「知の市場」の運営体制を踏まえて、連携機関の協力のもと開講機関の主催により知の市場が共催して開講する。科目(120分授業15回2単位相当)を一つの単位とし開講し、大学・大学院に準拠した厳しい成績評価を行うことを原則とする。社会と世界の現況に対する理解を深めそして専門分野の幅広い展開の基盤を固めるために広範な領域の科目を開講するが、時代の進展などに配慮しつつ適宜見直し進化する。

「関連講座」は、共催講座での経験を活かした活動、開講機関や連携機関が実施する活動、自己研鑽と自己実現に資する活動などであって知の市場の理念を共有する活動で、個々の主催者が自らの主体性と責任のもとで知の市場の基本方針を念頭に置きつつも取り巻く諸般の状況を踏まえて、講義時間と講義回数、成績評価と受講修了証などについて柔軟かつ弾力的に運営する。大学・大学院での履修科目に相当する120分授業15回の講座を科目、講義回数の少ない講座をユニット、科目を越えた長期間の講座をコースとして分類する。当面、教養編、専門編、研修編、大学・大学院編の4つの領域を設定する。

知の市場は、共催講座と関連講座の開講を通じて、自立的で解放的な協力関係を形成しながら人々が自己研鑽と自己実現のために立場を越えて自ら活動する場(Voluntary Open Network Multiversity)である。そしてプロ人材の育成と高度な教養教育の接合及び社会人教育と学校教育の連結という二つの結合を促進する挑戦である。

2012年度は、共催講座として17拠点で44科目を、関連講座として14拠点で11ユニット、26科目を、合計31拠点で81科目を開講する。このうち、2012年度の新規開講科目は後期に4科目を追加して合計17科目にのぼる。

【体系と機能】

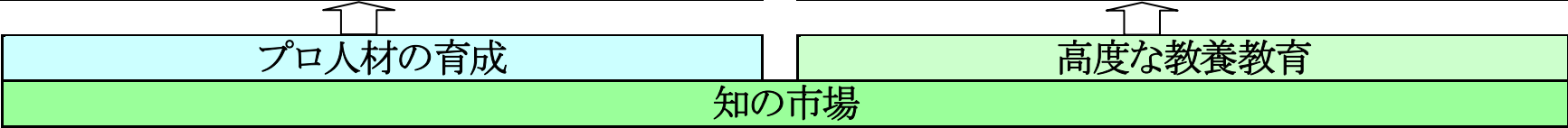
Free Market of・by・for Wisdom		Voluntary Open Network Multiversity		
知の市場 「互学互教」の精神のもと「現場基点」を念頭に「社学連携」を旗印として 実社会に根ざした「知の世界」の構築を目指して 人々が自己研鑽と自己実現のために自立的に行き交い自律的に集う場				
友の会		連携学会		
協力者・協力機関		協議会		
知の市場事務局		評価委員会		
共 催 講 座	お茶の水女子大学 ライフワールド・ウォッチセンター(増田研究室)		お茶の水女子大学(東京メトロ茗荷谷駅、護国寺駅) 前期3科目、後期4科目、計7科目開講	
	早稲田大学 規範科学総合研究所		早稲田大学西早稲田キャンパス(東京メトロ西早稲田駅前) 前期3科目、後期3科目、計6科目開講	
	狭山商工会議所 狭山市		狭山市産業労働センター(西部新宿線狭山市駅前) 前期2科目、後期3科目、計5科目	
	化学工学会SCE・Net		お茶の水女子大学(東京メトロ茗荷谷駅、護国寺駅) 前期2科目、後期2科目、計4科目開講	
	労働科学研究所 早稲田大学 規範科学総合研究所		早稲田大学西早稲田キャンパス(東京メトロ西早稲田駅前) 前期1科目、後期3科目、計4科目開講	
	UL Japan		丸の内トラストタワー本館(JR東京駅) 前期1科目、後期2科目、計3科目開講	
	製品評価技術基盤機構 関西大学 社会安全学部 関西消費者連合会		関西大学高槻ミュージックキャンパス(JR高槻駅) 前期1科目、計1科目開講	
	主婦連合会 製品評価技術基盤機構 早稲田大学 規範科学総合研究所		早稲田大学西早稲田キャンパス(東京メトロ西早稲田駅前) 後期1科目、計1科目開講	
	主婦連合会 製品評価技術基盤機構		主婦会館(東京メトロ四ッ谷駅前) 前期1科目、計1科目開講	
	食品薬品安全センター 主婦連合会 早稲田大学 規範科学総合研究所		早稲田大学西早稲田キャンパス(東京メトロ西早稲田駅前) 後期1科目、計1科目開講	
	日本リスクマネジヤネットワーク		関西大学千里山キャンパス(阪急千里線関大前駅) 後期2科目、計2科目開講	
	動物臨床医学研究所		伯耆しあわせの郷又は動物臨床医学研究所(JR倉吉駅) 前期1科目、後期1科目、計2科目開講	
	国立感染症研究所 早稲田大学 規範科学総合研究所		国立感染症研究所(東京メトロ早稲田駅、若松河田駅) 前期1科目、後期1科目、計2科目開講	
	日本リファイン		前期:TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター(JR東京駅前)・後期:日本リファイン(JR東京駅) 前期1科目、後期1科目、計2科目開講	
	農業生物資源研究所 早稲田大学 規範科学総合研究所		早稲田大学西早稲田キャンパス(東京メトロ西早稲田駅前) 後期1科目、計1科目開講	
	三菱UFJトラストビジネス		早稲田大学西早稲田キャンパス(東京メトロ西早稲田駅前) 前期1科目、計1科目開講	
	凍穂会		ザ・タワー大阪(阪神本線福島駅、JR新福島駅) 前期1科目、計1科目開講	
	関 連 講 座	I. 教養編	名古屋市立大学 健康科学講座オープンカレッジ	名古屋市立大学川澄キャンパス(名古屋市地下鉄桜山駅前) 3学期制、計3ユニット開講
			化学工学会SCE・Net	お茶の水女子大学(東京メトロ茗荷谷駅、護国寺駅) 前期1ユニット、後期1ユニット、計2ユニット開講
		II. 専門編	名古屋市立大学 学びなおし支援センター	名古屋市立大学川澄キャンパス(名古屋市地下鉄桜山駅前) 東京キャンパス(慈恵会医大西新橋キャンパス、JR新橋駅) 3学期制;各期6科目、計18科目開講
明治大学 リバティアカデミー 安全学研究所			明治大学駿河台校舎リバティアタワー(JR御茶ノ水駅) 前期1科目、後期1科目、計2科目開講	
労働科学研究所			労働科学研究所(小田急向ヶ丘遊園駅、横浜市営地下鉄あざみ野駅からバス) 後期2科目、計2科目開講	
IV. 大学・ 大学院編		早稲田大学 理工学術院 先進理工学部	5ユニット開講	
		早稲田大学 理工学術院 大学院 3研究科	3科目、1ユニット開講	
		早稲田大学大学院・東京農工大学大学院 共同先進健康科学専攻	3科目開講	
		早稲田大学大学院・東京女子医科大学大学院 共同先端生命医科学専攻	3科目開講	
		明治大学大学院 理工学研究科 新領域創造専攻	2科目開講	
	お茶の水女子大学	2科目開講		
	お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科	1科目開講		
東京工業大学 工学部 高分子工学科	1科目開講			
東京工業大学大学院 理工学研究科 化学工学専攻	1科目開講			

知の市場の構造

— 講座の位置付け —

社会人教育	労働科学研究所(2科目+3科目*) 動物臨床医学研究所(2科目) 名古屋市立大学 学びなおし支援センター(6科目) 明治大学リバティアカデミー(2科目)	受講修了証など発行
大学大学院教育	早稲田大学理工学術院 大学院 3研究科(3科目、1ユニット) 早稲田大学大学院・東京農工大学大学院 共同先進健康科学専攻(3科目) 早稲田大学大学院・東京女子医科大学大学院 共同先端生命医科学専攻(3科目) 明治大学大学院 理工学研究科新領域創造専攻(2科目)	学校教育法に基づく単位を取得

社会人教育	お茶の水女子大学 ライフワールド・ウォッチセンター(増田研究室)(7科目) 早稲田大学 規範科学総合研究所(6科目) 狭山商工会議所・狭山市(5科目) 化学工学会 SCE・Net(4科目、2ユニット) 労働科学研究所(1科目*) UL Japan (3科目) 製品評価技術基盤機構・関西大学社会安全学部・関西消費者連合会(1科目) 主婦連合会・製品評価技術基盤機構(1科目+1科目*) 食品薬品安全センター・主婦連合会(1科目*) 日本リスクマネージャネットワーク(2科目) 国立感染症研究所(2科目*) 日本リファイン(2科目) 農業生物資源研究所(1科目*) 三菱UFJトラストビジネス(1科目) 凜徳会 (1科目) 名古屋市立大学 健康科学講座オープンカレッジ(3ユニット)	受講修了証など発行
大学大学院教育	早稲田大学理工学術院 先進理工学部(5ユニット) お茶の水女子大学(2科目) お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科(1科目) 東京工業大学 工学部高分子工学科(1科目) 東京工業大学大学院 理工学研究科化学工学専攻(1科目)	学校教育法に基づく単位を取得



* 早稲田大学規範科学総合研究所との共催科目

共 催 講 座

2009年度は11拠点で465名の講師陣の参画を得て合計59科目を開講し、2,297名の応募者があった。2010年度は、15拠点で317名の講師陣の参画を得て合計36科目を開講し、1,147名の応募者があった。2011年度は14拠点で363名の講師陣の参画を得て合計36科目を開講し、3月11日の東日本大震災の影響を受けて減少したが、1,000名の応募者があった。

2012年度は17拠点で450名の講師陣の参画により44科目を開講する。このうち15科目が新規科目であり、既存の開講機関が12科目、新規の開講機関が3科目を新規に開講する。

2011年度に引き続き早稲田大学規範科学総合研究所が6科目、お茶の水女子大学ライフワールド・ウオッチセンター（増田研究室）が7科目、狭山商工会議所と狭山市が5科目、化学工学会 SCE-Net が4科目、労働科学研究所と早稲田大学規範科学総合研究所が4科目、UL UL Japan が3科目、主婦連合会と製品評価技術基盤機構や早稲田大学規範科学総合研究所が1科目、主婦連合会と製品評価技術基盤機構が1科目、食品薬品安全センターと主婦連合会や早稲田大学規範科学総合研究所が1科目、日本リスクマネージャネットワークと早稲田大学規範科学総合研究所が2科目、動物臨床医学研究所が2科目、農業生物資源研究所と早稲田大学規範科学総合研究所が1科目を開講する。

また2012年度から既存科目の新規開講機関として国立感染症研究所と早稲田大学規範科学総合研究所が2科目、製品評価技術基盤機構と関西大学社会安全学部が1科目及び三菱UFJトラストビジネスが1科目を開催する。さらに新規科目の新規開講機関として日本リファインが2科目、凜穂会が1科目を開講する。

1. お茶の水女子大学 ライフワールド・ウオッチセンター（増田研究室）

詳細は<http://www.chinoichiba.org/lwwchp/>

<http://www.lwvc.ocha.ac.jp/saikyouiku/> を参照する。

(1) 開催場所

お茶の水女子大学(東京メトロ茗荷谷駅、護国寺駅)

(2) 概要

知の市場の創始者として新規の科目や連携機関そして開講機関の培養（インキュベーション）の機能を有しているお茶の水女子大学ライフワールド・ウオッチセンター（増田研究室）は、科学と技術や社会と世界の理解に資する広範な分野の科目を開講する。

2012年度は、次の連携機関と協力して、前期に3科目、後期に3科目を開講する予定であったが、後期について1科目が開講中止になり新規科目2科目が追加になるので後期の開講が4科目となる。その結果、年間合計7科目を開講する。

1) 新規科目として6科目

①YKK

グローバル企業を支えた経営基盤とものづくりに関する科目（前期）

②社会技術革新学会

事業のグローバル化と石油化学産業の基本技術に関する科目（前期）

③お茶の水女子大学リーダーシップ養成教育研究センター

女性に求められる社会を変えることへのチャレンジに関する科目（前期）

④関東化学

生活と産業を支える社会インフラとしての試薬に関する科目（後期）

- ⑤日本サイエンスコミュニケーション協会
21世紀の産業技術リテラシーの展望に関する科目（後期）
- ⑥お茶の水女子大学ライフワールド・ウォッチセンター（増田研究室）
現代人の基礎的素養としての企業法に関する科目（後期）
- 2) 継続科目として1科目
 - ⑦日高東亜国際特許事務所
知的財産権の意義・制度・戦略に関する科目を開講（後期）
- 3) 開講中止科目として1科目
 - ⑧放射線医学総合研究所
放射線の健康影響と防御手段に関する科目（後期）

お茶の水女子大学の学部学生の単位取得対象科目である。単位取得希望者は知の市場に受講登録するとともに大学に履修登録する。

修了者には受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2004	10	213	152
2005	36	844	510
2006	31	659	360
2007	24	647	305
2008	10	551	290
2009	4	164	91
2010	4	136	81
2011	7(5)	207	89
2012	7(6)	前期3科目 63	
合計	132	3,484	1,878

() 内は当初予定の科目数。

(2012年6月7日現在)

2. 早稲田大学 規範科学総合研究所

詳細は <http://www.waseda.jp/prj-iirs/> を参照する。

(1) 開催場所

早稲田大学西早稲田キャンパス（東京メトロ西早稲田駅前）

(2) 概要

化学物質や生物そして医療分野におけるリスクの総合管理に関して社会の認識の向上を図り持続可能な発展に資するため、学生・院生を含む社会人を対象に開講する実践を通して、科学的知見と論理的思考によって規範を構築するあり方や規範科学（レギュラトリーサイエンス）に関わる教育のあり方などについて調査研究を行う早稲田大学規範科学総合研究所は、化学物質や生物の総合管理を中心に現代社会の理解に資する広範な分野の科目を開講する。

2012年度は、次の連携機関と協力して、前期に3科目、後期に3科目の合計6科目を開講する。

1) 新規科目として1科目

①早稲田大学規範科学総合研究所

化学物質の総合管理におけるナノ材料のリスク管理を比較研究する科目（後期）

2) 継続科目として5科目

②早稲田大学規範科学総合研究所

i) 農薬のベネフィットとリスクの総合管理に関する科目（前期）

- ii) 科学と技術や社会と世界の広範な事柄について幅広く自由に論じる科目（前期）
- iii) 環境に関する科学や政策に関する科目（後期）

この科目は2011年度からインターネットにより全国に配信する。

③武田薬品工業

医薬品研究開発の戦略とプロセスに関する科目（前期）

④日本獣医師会

獣医学の視点から動物と人との関係に関する科目（後期）

この科目は2011年度からインターネットにより全国に配信する。

なお、2011年3月11日の東日本大震災の影響により農薬のベネフィットとリスクの総合管理に関する科目は、2011年度の開講場所をお茶の水女子大学ライフワールド・ウオッチセンター（増田研究室）に移管したが、2012年度には再び早稲田大学規範科学総合研究所で開講する。

このほか、労働科学研究所と4科目、主婦連合会及び製品評価技術基盤機構と1科目、食品薬品安全センター及び主婦連合会と1科目、国立感染症研究所と2科目、農業生物資源研究所と1科目の合計9科目を共催で開講する。

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2004	2	51	28
2005	4	114	66
2006	5	128	73
2007	5	119	67
2008	5	150	77
2009	7	227	134
2010	7	214	93
2011	7(11)	205	72
2012	6	前期3科目 81	
合計	50	1,289	610

2008年度以前は継承した科目が他の開講機関で開講した数を含む。

(2012年6月7日現在)

() 内は当初予定の科目数。

3. 狭山商工会議所

狭山市

詳細は<http://www.sayama-cci.or.jp/> を参照する。

(1) 開催場所

狭山市産業労働センター（西武新宿線狭山市駅前）

(2) 概要

埼玉県において最大の出荷額を有する狭山市は、その特徴を活かして地域とともに全国に狭山市の特徴を発信するために企業、ものづくり、技術、教育などに関する科目を開講する。

2012年度は、次の連携機関と協力して、前期に3科目、後期に2科目の合計5科目を開講する。

1) 新規科目として3科目

①狭山商工会議所・狭山市・狭山市教育委員会

ものづくり企業シリーズとして狭山工業団地とその周辺の企業の歴史、概要、技術などの紹介に関する科目（前期）

- ②アダムジャパン・狭山商工会議所・狭山市・狭山市教育委員会
ものづくりシリーズとしてビリヤードとその道具に関する科目（前期）
- ③狭山商工会議所・川越狭山工業会
ものづくりシリーズとして川越狭山工業団地とその周辺の企業の歴史、概要、技術などの紹介に関する科目（後期）
- 2) 継続科目として2科目
 - ④社会技術革新学会
お茶の水女子大学ライフワールド・ウオッチセンター（増田研究室）で開講していた科目を継承して、石油をはじめとする日本とサウジアラビアの戦略的互惠関係に関する科目（前期）
 - ⑤狭山商工会議所・狭山市・狭山市教育委員会
狭山市の中学生を対象とした経済キャリア教育に関する科目（後期）
- 3) 開講中止科目として1科目
 - ⑥狭山商工会議所・狭山市・狭山市教育委員会
ものづくりシリーズとしての自動車のできるまでのプロセスに関する科目（後期）

修了者には受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2011	2	38	27
2012	5	前期3科目48	
合計	7	86	27

(2012年6月7日現在)

4. 化学工学会 SCE・Net

詳細は <http://www.sce-net.jp/shakaijinkyuiku.html> を参照する。

(1) 開催場所

お茶の水女子大学(東京メトロ茗荷谷駅、護国寺駅)

(2) 概要

色々な分野で活動してきた化学技術者が長年の実務経験を通じて蓄積してきた知識と技術を次代へ伝承することを目的とする化学工学会 SCE・Net は、化学技術分野の科目を開講する。

2012年度は、次の連携機関と協力して、2011年度と同様に前期に2科目、後期に2科目の合計4科目を開講する。

1) 継続科目として4科目

①化学工学会 SCE・Net

- i) 技術開発における研究から事業化へ道りに関する科目（前期）
- ii) 環境に関する諸問題の解決と化学技術との係わりを論じる科目（後期）
- iii) 化学工業とその製品の社会との関係を論じる科目（後期）

②三洋化成工業

生活を演出する機能化学品(パフォーマンス・ケミカルス)の機能・メカニズム・役割に関する科目（前期）

なお、このほか受講者のすそ野の拡大を図るため、原子力・放射能に関する科目とエ

エネルギーシステムに関する科目を、知の市場の基本方針を念頭に置きつつも取り巻く諸般の状況を踏まえて、講義時間と講義回数、成績評価と修了証などについて柔軟かつ弾力的に運営する関連講座として開講する。

修了者には受講修了証を発行する。受講料は1科目あたり5,000円である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2005	7	111	65
2006	7	90	51
2007	7	122	54
2008	3	106	45
2009	2	58	36
2010	2	53	24
2011	4	117	42
2012	4	前期2科目37	
合計	36	694	317

2008年度以前は継承した科目が他の開講機関で開講した数を含む。

(2012年6月7日現在)

5. 労働科学研究所

早稲田大学規範科学総合研究所

詳細は<http://www.isl.or.jp/expert/index.html> を参照する。

(1) 開催場所

早稲田大学西早稲田キャンパス（東京メトロ西早稲田駅前）

(2) 概要

産業安全保健に関する研究及び調査並びに研究者の養成を目的に創立90周年を迎えた労働科学研究所は、早稲田大学規範科学総合研究所と共催で産業安全保健のエキスパート養成などに関する科目を開講する。

2012年度は、次の連携機関と協力して、2011年度と同様、前期に1科目、後期に3科目の合計4科目を開講する。

1) 継続科目として4科目

①労働科学研究所

- i) 産業保健の基礎として労働科学の歴史と展開を紹介する科目（前期）
- ii) 専門的な知識と技術を有し総合的なリスクアセスメントとそれに基づく対策を自立して構築することができる職場におけるプロ人材（産業安全保健エキスパート）の育成を目指す中級の安全、健康、職場環境の3科目（後期）

「産業安全保健エキスパート認定試験二級」に合格するためには、この4科目を受講することを推奨する。

産業安全保健のプロ育成科目の受講者は、上司の許可を得た業務としての参加を原則とするが、講義に十分参加できる素養を有する場合は個人的な受講も可能である。

なお、このほか労働科学研究所は、労働科学研究所が実施する「産業安全保健エキスパート認定試験二級」の合格者のみを対象とする実習を主とした上級の2科目を関連講座として単独で開講する。

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2005	4	80	80
2006	8	156	152
2007	8	200	200
2008	8	196	196
2009	8	196	196
2010	4	63	55
2011	4	34	26
2012	4	前期 1 科目 12	
合計	48	937	905

2008 年度以前は継承した科目が他の開講機関で開講した数を含む。

(2012 年 6 月 7 日現在)

6. UL Japan

詳細は <http://www.ul.com/japan/jpn/pages/seminarsandtrainings/> を参照する。
組織編成に伴い開講機関と連携機関の UL University を UL Japan に改称した。

(1) 開催場所

丸の内トラストタワー (JR 東京駅前)

(2) 概要

UL は製品安全に関する業務を行う米国の第三者製品安全認証機関である。UL Japan はその日本法人であり、その 1 部門として各種セミナーの企画や提供を行ない、企業経営とマネジメントや化学物質総合経営に関する科目を開講する。

2012 年度は、次の連携機関と協力して、前期に 1 科目、後期に 2 科目の合計 3 科目を開講する。

1) 継続科目として 3 科目

① UL Japan

企業活動のグローバル化の変化に対応するための企業経営とマネジメントシステムのあり方について解説する 2 科目 (前期) (後期)

同一の内容の科目を前期と後期に 2 度開講する。

② 化学生物総合管理学会

2011 年度にお茶の水女子大学ライフワールド・ウォッチセンター (増田研究室) で開講した科目を継承する化学物質総合管理の国際協調と化学物質総合経営に関する科目 (後期)

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2011	1 (0)	28	7
2012	3	前期 1 科目 26	
合計	4	54	7

() 内は当初予定の科目数。

(2012 年 6 月 7 日現在)

7. 製品評価技術基盤機構

関西大学社会安全学部

関西消費者連合会

2011 年 12 月 1 日から新規開講機関として関西大学社会安全学部が知の市場に参画する。

詳細は <http://www.nite.go.jp/> を参照する。

(1) 開催場所

関西大学高槻ミュージーズキャンパス（JR 高槻駅）

(2) 概要

製品安全、化学物質管理、バイオテクノロジー、適合性認定の4分野で活動する製品評価技術基盤機構は、安全・安心をデザインできる社会貢献型の人材を育成することを目指す関西大学社会安全学部と共催で事故原因の究明などの製品安全分野に関する科目を開講する。

2012年度は、次の連携機関と協力して、2011年度と同様に、前期に1科目を開講する。

1) 継続科目として1科目

①製品評価技術基盤機構

2011年度に製品評価技術基盤機構と関西消費者連合会の共催で開講した科目を継承して、製品事故の現状と製品安全対策について、具体的事例に基づいて分析考察しながら今後の事故防止方策や政策のあり方について論ずる科目（前期）

この科目は、製品評価技術基盤機構と関西大学社会安全学部・関西消費者連合会の共催で大阪にて前期に開講するほか、主婦連合会と製品評価技術基盤機構は、早稲田大学規範化学総合研究所と共催で後期に東京（早稲田大学西早稲田キャンパス）にて開講する。

修了者には受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2005	1	12	4
2006	3	96	56
2007	3	106	58
2008	4	141	84
2009	2	70	53
2010	1	35	28
2011	1	15	8
2012	1	前期1科目 50	
合計	15	525	291

2009年度以前は継承した科目が他の開講機関で開講した数を含む。

(2012年6月7日現在)

8. 主婦連合会

製品評価技術基盤機構（NITE）

早稲田大学規範科学総合研究所

詳細は <http://www.shufuren.net/>、<http://www.nite.go.jp/> を参照する。

(1) 開催場所

早稲田大学西早稲田キャンパス（東京メトロ西早稲田駅前）

(2) 概要

安全・安心な暮らしの実現をめざして消費者運動を先導してきた主婦連合会と製品安全、化学物質管理、バイオテクノロジー、適合性認定の4分野で活動する製品評価技術基盤機構は、早稲田大学規範科学総合研究所と共催で製品安全分野に関する科目を開講する。

2012年度は、次の連携機関と協力して、2011年度と同様に、後期に1科目を開講する。

1) 継続科目として1科目

①製品評価技術基盤機構

製品事故の現状と製品安全対策について、具体的事例に基づいて分析考察しながら今後の事故防止方策や政策のあり方について論ずる科目（後期）

この科目は2011年度からインターネットにより全国に配信する。

この科目は、主婦連合会と製品評価技術基盤機構は、早稲田大学規範化学総合研究所と共催で後期に東京にて開講するほか、製品評価技術基盤機構は、関西大学社会安全学部・関西消費者連合会と共催で前期に大阪(関西大学高槻ミュージックキャンパス)にて開講する。

なお、このほか製品評価技術基盤機構は、主婦連合会と共催で化学物質に関するリスク評価とリスク管理の基礎知識に関する科目を主婦会館で前期に1科目を開講する。

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2005	1	12	4
2006	3	96	56
2007	3	106	58
2008	4	141	84
2009	2	70	53
2010	1	82	57
2011	1	81	46
2012	1		
合計	15	588	358

2009年度以前は継承した科目が他の開講機関で開講した数を含む。(2012年6月7日現在)

9. 主婦連合会

製品評価技術基盤機構 (NITE)

詳細は <http://www.shufuren.net/>、<http://www.nite.go.jp/> を参照する。

(1) 開催場所

主婦会館 (JR、東京メトロ四谷駅前)

(2) 概要

安全・安心な暮らしの実現をめざして消費者運動を先導してきた主婦連合会と製品安全、化学物質管理、バイオテクノロジー、適合性認定の4分野で活動する製品評価技術基盤機構は、共催で化学物質のリスク評価とリスク管理に関する分野の科目を開講する。

2012年度は、次の連携機関と協力して、2011年度と同様、前期に1科目を開講する。

1) 継続科目として1科目

①製品評価技術基盤機構・主婦連合会

化学物質に関するリスク評価とリスク管理の基礎知識やリスクコミュニケーションの重要性などに関する科目 (前期)

なおこのほか、主婦連合会と製品評価技術基盤機構は早稲田大学規範化学総合研究所と共催で後期に東京で並びに製品評価技術基盤機構は関西大学社会安全学部と共催で前期に大阪で、製品事故の現状と製品安全対策について具体的事例に基づいて分析考察しながら今後の事故防止方策や政策のあり方について論ずる科目をそれぞれ1科目開講する。

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2011	1	46	28
2012	1	前期1科目 53	
合計	2	99	28

(2012年6月7日現在)

10. 食品薬品安全センター

主婦連合会

早稲田大学 規範科学総合研究所

詳細は<http://www.fdsc.or.jp/> を参照する。

(1) 開催場所

早稲田大学西早稲田キャンパス（東京メトロ西早稲田駅前）

(2) 概要

食品、医薬品、医療機器などにかかわる化学物質の安全性に関する研究と試験を行なう食品薬品安全センターと安全・安心な暮らしの実現をめざして消費者運動を先導してきた主婦連合会は、早稲田大学規範科学総合研究所と共催で食品の安全分野の科目を開講する。

2012年度は、次の連携機関と協力して、2011年度と同様、後期に1科目を開講する。

1) 継続科目として1科目

①食品薬品安全センター

食品の安全について、食品衛生検査の精度管理の実際、食品の安全性試験の基礎、機能性食品の安全性確保における問題点などに関する科目（後期）

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2009	1	47	26
2010	1	34	27
2011	1	32	24
2012	1		
合計	4	113	77

(2012年6月7日現在)

11. 日本リスクマネージャネットワーク

詳細は<http://www.jrmn.net/>を参照する。

(1) 開催場所

関西大学千里山キャンパス（阪急千里線関大前駅）

（開催場所は大阪府環境農林水産総合研究所から変更した。）

(2) 概要

リスクマネジメントの普及や支援に取り組むとともにリスクマネージャとしての資質を磨き、社会の安全、安心の向上に資することを目的に活動する日本リスクマネージャネットワークは、早稲田大学規範科学総合研究所と共催で病虫害の防除や環境問題に関する科目を開講する。

2012年度は、次の連携機関と協力して、後期に2科目を開講する。

1) 継続科目として2科目

①日本環境動物昆虫学会

防疫薬などの薬剤の開発、社会的役割そして安全性などに関する科目（後期）

②日本リスクマネージャネットワーク

最新のトピックや身近な関心事を含めた環境問題の基礎に関する科目（後期）

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2009	2	43	30
2010	3	39	31
2011	3	27	16
2012	2		
合計	10	109	77

2009年度は継承した科目が他の開講機関で開講した数を含む。

(2012年6月7日現在)

1 2. 動物臨床医学研究所

鳥取県動物臨床医学研究所が2011年4月1日から動物臨床医学研究所に改称された。

詳細は<http://www.dourinken.com/> を参照する。

(1) 開催場所

動物臨床医学研究所 (JR 倉吉駅)

(2) 概要

獣医学に関する臨床的研究はもとより、獣医医療の従事者の教育・養成などの人材育成などに長期間にわたって取り組んできた動物臨床医学研究所は、動物医療に関する科目を開講する。

2012年度は、次の連携機関と協力して、2011年度と同様、前期に1科目、後期に1科目の合計2科目を開講する。

1) 新規科目として2科目

①動物臨床医学研究所

小動物を対象に日常的に役立つ動物医療技術の向上のための教育と症例検討などに関する2科目 (前期) (後期)

動物医療の中でも伴侶動物医療の近年の発展は目を見張るものがあるが、急速な発展の中にひずみが発生しているのも事実である。医療には生き物的要素があり急速な変化に対応不能な面もあるため臨床獣医学のありようを再考しつつ、原点であるひとつひとつの症例を大事に検証して、そのありようを検討するために講義内容を毎年全面的に更新している。

受講対象者は獣医師、獣医系大学学生、動物看護師に限る。

修了者には受講修了証を発行する。受講料は1科目あたり1,000円、学生は500円である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2010	2	146	83
2011	2	135	44
2012	2	前期1科目 67	
合計	6	348	127

(2012年6月7日現在)

1 3. 国立感染症研究所

早稲田大学規範科学総合研究所

詳細は<http://www.nih.go.jp/niid/> を参照する。

(1) 開催場所

国立感染症研究所 (東京メトロ早稲田駅、若松河田駅)

(2) 概要

我が国唯一の感染症に関する総合的な研究を行う国立感染症研究所は、早稲田大学規

範科学総合研究所と共催で感染症とその防御に関する科目を開講する。

なお、国立感染症研究所は2004年度から連携機関として知の市場に参画してきたが、2012年度から開講機関としても活動する。

2012年度は、次の連携機関と協力して、前期、後期に2科目を開講する。

1) 継続科目として2科目

①国立感染症研究所

過去・現在・未来における感染症と防御に関する2科目(前期)(後期)

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2012	2	前期1科目33	
合計	2	33	

(2012年6月7日現在)

1.4. 日本リファイン

2011年12月1日から新規開講機関として日本リファインが知の市場に参画する。

詳細は<http://www.n-refine.co.jp/>を参照する。

(1) 開催場所

前期：TKP 東京駅八重洲カンファレンスセンター (JR 東京駅前)

後期：日本リファイン (JR 東京駅)

(2) 概要

製造プロセスで使用された溶剤を回収しつつ溶剤の精製と組み合わせることにより環境に配慮した循環型産業の構築を目指す日本リファインは、リチウムイオン2次電池の製造に関する科目と産業安全を経営に活かす科目を開講する。

2012年度から、次の連携機関と協力して、前期に1科目、後期に新たに1科目を開講する。

1) 新規科目として2科目

①日本リファイン・社会技術革新学会

リチウムイオン2次電池の開発の歴史に見る技術革新と経営変革の成否の要因を論じる科目(前期)

②社会技術革新学会・日本リファイン

競争力を生み出す安全な産業と社会環境の構築を先導する経営者の育成に関する科目(後期)

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2012	2(1)	前期1科目97	
合計	2	97	

()内は当初予定の科目数。

(2012年6月7日現在)

1.5. 農業生物資源研究所

早稲田大学規範科学総合研究所

詳細は<http://www.nias.affrc.go.jp/>を参照する。

(1) 開催場所

主婦会館プラザエフ (JR 中央線 四ッ谷駅前)

(2) 概要

農業分野における生命科学やバイオテクノロジーの研究開発を進めることにより農業技術の発達に貢献するとともにこれまでにない新たな生物産業を創出することを目的とする農業生物資源研究所は、早稲田大学規範科学総合研究所と共催で農業生物資源の利用などに関する科目を開催する。

2012年度は、次の連携機関と協力して、2011年度と同様、後期に1科目を開講する。

1) 継続科目として1科目

①農業生物資源研究所

バイオテクノロジーで拓く食料、医療など農業生物資源の利用と未来に関する科目
(後期)

この科目は2012年度からインターネットによる全国配信に取り組む。

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2006	1	11	7
2007	1	21	16
2008	2	56	32
2009	1	52	28
2010	1	63	29
2011	1(0)	18	5
2012	1		
合計	8	221	117

2008年度以前は継承した科目が他の開講機関で開講した数を含む。

(2012年6月7日現在)

()内は当初予定の科目数。

1.6. 三菱UFJトラストビジネス

2011年12月1日から新規開講機関として三菱UFJトラストビジネスが知の市場に参画する。詳細は<http://www.mubk.co.jp/>を参照する。

(1) 開催場所

早稲田大学 西早稲田キャンパス (東京メトロ 西早稲田駅)

(2) 概要

銀行事務に対する代行や支援などの金融分野で活動する三菱UFJトラストビジネスは、金融に関する科目を開講する。

なお、三菱UFJトラストビジネスは2011年度から連携機関として知の市場に参画してきたが、2012年度から開講機関として活動する。また、三菱UFJ信託銀行は2012年度から連携機関としても参画する。

2012年度は、次の連携機関と協力して、前期に1科目を開講する。

1) 継続科目として1科目

①三菱UFJトラストビジネス・三菱UFJ信託銀行

2011年度にお茶の水女子大学ライフワールド・ウォッチセンター (増田研究室)で開講した科目を継承して、資産運用、投資、与信などの金融業務に係るリスクとリターンに関する科目 (前期)

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2012	1	前期1科目 24	
合計	1	24	

(2012年6月7日現在)

17. 凜穂会

2011年12月1日から新規開講機関として凜穂会が知の市場に参画する。

詳細は<http://www.linsui.jp/>を参照する。

(1) 開催場所

ザ・タワー大阪2階

(2) 概要

日本の伝統文化である書道をもとに独自の芸術作品を創作する活動に取り組む凜穂会は、書道を創作に繋げる科目を開講する。

2012年度は、次の連携機関と協力して、通年に1科目を開講する。

1) 新規科目として1科目

①凜穂会

書道について古典を学び、作品を創作に繋げる科目（前期）

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2012	1	前期1科目 12	
合計	1	12	

(2012年6月7日現在)

関 連 講 座

2009年度は、教養編3ユニットと1科目、専門編10ユニットと6科目、研修編1コース(19科目相当)と2科目、大学・大学院編9ユニットと10科目、12拠点で22ユニット、19科目、1コース(19科目相当)の合計42科目(60科目相当)を開講し、2,077名の応募者があった。2010年度は、教養編3ユニット、専門編14科目と1ユニット、研修編1(19科目相当)コース、大学・大学院編8ユニットと19科目、16拠点で12ユニット、33科目、1コース(19科目相当)の合計46科目(64科目相当)を開講し、2,839名の応募者があった。2011年度は、教養編3ユニット、専門編11科目、研修編1コース(19科目相当)、大学・大学院編6ユニットと22科目、16拠点で9ユニット、33科目、1コース(19科目相当)の合計43科目(61科目相当)を開講し、1,756名の応募者があった。

2012年度は、14拠点で11ユニット、26科目の合計37科目を開講する。このうち2ユニットが新規科目である。

2012年度は2011年度から継続して、教養編として名古屋市立大学大学院の主催で3ユニット、専門編として名古屋市立大学 学びなおし支援センターの主催で6科目、明治大学リバティアカデミーと明治大学大学院の共催で2科目、労働科学研究所の主催で2科目、大学・大学院編として早稲田大学が5ユニット、早稲田大学大学院が1ユニットと3科目、早稲田大学大学院・東京農工大学大学院 共同先進健康科学専攻が3科目、早稲田大学大学院・東京女子医科大学大学院 共同先端生命医科学専攻が3科目、お茶の水女子大学が2科目、お茶の水女子大学大学院が1科目、明治大学大学院が2科目、東京工業大学が1科目及び東京工業大学大学院が1科目を開講する。

また2012年度から新規科目として、教養編として化学工学会SCE・Netが2ユニットを開講する。

I. 教養編

1. 名古屋市立大学健康科学講座オープンカレッジ

詳細は<http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/w3med/philanthropy/opencollege.html>を参照する。

(1) 開催場所

名古屋市立大学 川澄キャンパス (名古屋市地下鉄桜山駅前)

(2) 概要

市民の日々の生活を実りあるものにし将来の生活設計に資するために、名古屋市立大学医学部の基礎・臨床分野が蓄積している最新の研究情報を市民にわかりやすく解説し自己研鑽と再学習の場を提供することを目的とする名古屋市立大学健康科学講座オープンカレッジは、医療・健康に関する基礎的な科目を開講する。

2012年度は、次の連携機関と協力して、2011年度と同様に、3期に分けて3ユニットを開講する。

1) 継続科目として3ユニット

- ①名古屋市立大学健康科学講座オープンカレッジ
健康科学に関する3ユニット (第1、2、3期講座)

講師陣は名古屋市立大学大学院医学研究科の教員を中心に、各ユニットのコーディネー

ターの下で学内他研究科の教員そして外部の研究者や実務家も参画している。受講者は大学生・大学院生も含めて医療・福祉関係や教育関係など幅広い社会人を応募対象とする。

90分授業8回からなるユニットを毎年開講する。金曜日（18時30分～20時）に開催する。

6回以上の出席者には修了証を発行する。受講料は1ユニットあたり8,000円である。

開催年度	ユニット数	受講者数	修了者数
2005	5	403	284
2006	6	497	390
2007	6	412	342
2008	6	371	256
2009	3	222	175
2010	3	227	173
2011	3	180	137
2012	3	第1期1ユニット79	
合計	35	2,391	1,757

(2012年6月7日現在)

2. 化学工学会 SCE・Net

詳細は<http://www.sce-net.jp/shakaijinkyuiku.html> を参照する。

(1) 開催場所

お茶の水女子大学(東京メトロ茗荷谷駅、護国寺駅)

(2) 概要

色々な分野で活動してきた化学技術者が長年の実務経験を通じて蓄積してきた知識と技術を次代へ伝承することを目的とする化学工学会 SCE・Net は、化学技術に関わる教養講座を共催講座として開講してきたが、社会で関心を持たれているより広い分野の技術や事柄について基礎知識を提供する目的で、1科目15講義に満たない短期講座を新たに設け、原子力と放射線やエネルギーの供給と消費に関する科目を開講する。

2012年度は、次の連携機関と協力して、前期に1ユニット（8講義）、後期に1ユニット（10講義）を開講する。

1) 新規科目として2ユニット

①化学工学会 SCE・Net

原子力と放射線の基礎に関するユニット（前期）

②ブルーアース

エネルギーの供給と消費の変革に関するユニット（後期）

講師は当該分野で経験を積んだ現役あるいはシニアの化学技術者が当たる。

全講義の70%以上出席した受講者には、化学工学会 SCE・Net が受講修了証を発行する。受講料は1ユニットあたり3,000円である。

開催年度	ユニット数	受講者数	修了者数
2012	2	前期1科目50	
合計	2		

(2012年6月7日現在)

II. 専門編

3. 名古屋市立大学学びなおし支援センター

詳細は<http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/w3med/manabi/>を参照する。

(1) 開催場所

名古屋：名古屋市立大学 川澄キャンパス（名古屋市地下鉄桜山駅前）

(2) 概要

医療保健分野の人材不足を補うため、職場復帰と高度医療に対応できる能力の向上を支援することを目的とする名古屋市立大学学びなおしセンターは、専門分野に応じた柔軟な選択科目から構成する自己研鑽プログラムを開講する。

2012年度は、次の連携機関と協力して、2011年度と同様に、前期に3科目、後期に3科目の合計6科目を開講する。

1) 継続科目として6科目

①名古屋市立大学学びなおし支援センター

医療保健に関する6科目（前期）（前期）

医療と保健分野の国家資格保有者を対象としたコース制（医療専門コース、医療技能コース、健康・保健コース）での受講とスポット科目での受講があり、スポット科目での受講は一部受講制限のある実習科目を除き一般の者も受講可能である。

受講修了した国家資格保有者については、受講修了証を発行するほか、履修証明試験の成績に応じて学校教育法に基づく履修証明書を授与するとともに就職支援もおこなう。一般の受講者については受講修了証を発行する。受講料は1科目あたり5,000円である。

なお、講座受講中は学内「さくら保育所」の一時託児サービス(1回2,000円)も利用できる。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2008	7(6科目は12月開講)	248	194
2009	18	1008	459
2010	10	990	399
2011	6	257	182
2012	6	前期3科目 105	
合計	47		1,234

(2012年6月7日現在)

4. 明治大学リバティアカデミー

明治大学安全学研究所

明治大学大学院理工学研究科新領域創造専攻

詳細は<http://www.meiji.ac.jp/sst/grad/>

<http://academy.meiji.jp/ccs/index.html> を参照下さい。

(1) 開催場所

明治大学駿河台校舎リバティタワー（JR 御茶ノ水駅）

(2) 概要

明治大学の生涯教育の拠点である明治大学リバティアカデミーと安全学の教育・普及の拠点である明治大学安全学研究所及び次の時代を担う新しい領域とそれに挑戦する人間集団を目指す明治大学大学院理工学研究科新領域創造専攻は、共催で安全分野に関する

る科目を開講する。

2012年度は、次の連携機関と協力して、2011年度と同様、前期に1科目、後期に1科目の合計2科目を開講する。

1) 継続科目として2科目

①明治大学 リバティアカデミー

i) 暮らしの中の安全の検証と社会の中に安全を創るための方策について論じる科目 (前期)

ii) 製品と機械の安全及びリスクアセスメントに関する科目 (後期)

なお、安全・安心な社会の実現のためには、工学的な視点のみならず人文・社会科学的な視点も含めた包括的、統一的、領域横断的な考察が必要である。

120分授業16回からなる科目を前期に1科目、後期に1科目、計2科目開講する。

修了者には修了証を発行する。受講料は1科目あたり10,000円である。

開催年度	科目・ユニット数	受講者数	修了者数
2005	2ユニット	169	17*
2006	3ユニット	308	186
2007	4ユニット	100	84
2008	4ユニット	119	90
2009	4ユニット	326	199
2010	2科目	144	144
2011	2科目	122	90
2012	2科目	70	
合計	23	1,358	810

*: 1科目は修了証発行せず

(2012年6月7日現在)

5. 労働科学研究所

詳細は<http://www.isl.or.jp/> を参照する。

(1) 開催場所

労働科学研究所 (小田急線 向ヶ丘遊園駅又は横浜市営地下鉄あざみ野駅からバス)

(2) 概要

産業安全保健に関する研究及び調査並びに研究者の養成を目的に創立90周年を迎えた労働科学研究所は、産業安全保健のエキスパート養成などに関する科目を開講する。

2012年度から次の連携機関と協力して関連講座として後期に2科目を開講する。

1) 継続科目として2科目

①労働科学研究所

i) 共催講座として開講する安全、健康、職場環境の3つの中級科目の修了者を対象に産業安全保健の実践に関する最新の情報や多様な技術を習得するとともに、それらの知識や技術を統合して企業において産業安全保健活動を推進できる能力をもつ者を育成するための上級科目 (後期)

ii) 上級科目の履修者を対象に再教育する科目 (後期)

また、労働科学研究所が資格認定試験を行う予定で準備をしている。

なお、労働科学研究所は、このほか共催講座として早稲田大学規範科学総合研究所と共催で、産業保健の基礎に関する科目と安全、健康、職場環境に関する産業安全保健エキスパートを養成する3科目の計4科目を無料で開講する。

修了者には受講修了証を発行する。上級科目の受講料は150,000円である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2011	2	3	2
2012	2		
合計	4	3	2

(2012年6月7日現在)

IV. 大学・大学院編

大学や大学院での正規の単位取得対象科目として開講される科目やユニットをこの市場の関連講座として位置づける。2010年度は10拠点で15科目、8ユニットを開講した。2011年度は10拠点で17科目、6ユニットを開講している。2012年度は9拠点で16科目、6ユニットを開講する。

大学・大学院	科目名	種別	学科
早稲田大学 理工学 術院 先進理工学部	生命医科学ゼミナールⅡ	ユニット	生命医科学科
	生命科学概論 A (総合機械)	ユニット	総合機械学科
	生命科学概論 A (建築・電子光・経営・資源・ 社会工学)	ユニット	建築・電子光・経営・資源・ 社会工学科
	生命科学概論 A (化学・応化)	ユニット	化学・応用化学科
	生命科学概論 B (生医)	ユニット	生命医科学科
早稲田大学 理工学 術院 大学院 3 研究 科(基幹理工学研究 科・創造理工学研究 科・先進理工学研究 科)	先端生命医科学特論 B	ユニット	生命医科学専攻
	化学物質総合管理学	科目	先進理工学研究科
	食農総合管理学 (隔年開講)	科目	先進理工学研究科
	リスク評価学 (隔年開講)	科目	先進理工学研究科
	感染症総合管理学(隔年開講、2012 開講せず)	科目	先進理工学研究科
	生活環境総合管理学(隔年開講、2012 開講せず)	科目	先進理工学研究科
	ハザード評価学(隔年開講、2012 開講せず)	科目	先進理工学研究科
早稲田大学大学院・ 東京農工大学大学 院 共同先進健康科 学専攻	化学物質総合管理学	科目	共同先進健康科学専攻
	食農総合管理学 (隔年開講)	科目	共同先進健康科学専攻
	リスク評価学(隔年開講)	科目	共同先進健康科学専攻
	感染症総合管理学(隔年開講、2012 開講せず)	科目	共同先進健康科学専攻
	生活環境総合管理学(隔年開講、2012 開講せず)	科目	共同先進健康科学専攻
	ハザード評価学(隔年開講、2012 開講せず)	科目	共同先進健康科学専攻
早稲田大学大学院・ 東京女子医科大学 大学院 共同生命医 科学専攻	化学物質総合管理学	科目	共同先端生命医科学専攻
	食農総合管理学(隔年開講)	科目	共同先端生命医科学専攻
	リスク評価学(隔年開講)	科目	共同先端生命医科学専攻
	感染症総合管理学(隔年開講、2012 開講せず)	科目	共同先端生命医科学専攻
	生活環境総合管理学(隔年開講、2012 開講せず)	科目	共同先端生命医科学専攻
	ハザード評価学(隔年開講、2012 開講せず)	科目	共同先端生命医科学専攻
明治大学大学院理 工学研究科 新領域 創造専攻	安全学特論	科目	新領域創造専攻
	新領域創造特論 3	科目	新領域創造専攻
お茶の水女子大学	リスク管理 (演習)	科目	生活世界の安全保障科目： リベラルアーツ
	社会技術革新学概論 (隔年開講 2012 開講せず)	科目	生活世界の安全保障科目： リベラルアーツ
	安全管理概論	科目	基礎講義科目
お茶の水女子大学 大学院 人間文化創 成科学研究科	化学物質総合管理学 (隔年開講)	科目	自然応用科学系ライフサイ エンス専攻人間環境科 学コース
東京工業大学 工学 部 高分子工学科	社会技術革新学概論	科目	高分子工学科
東京工業大学大学 院 理工学研究科 化学工学専攻	資源・エネルギー・安全論	科目	化学工学専攻

開講年度 開講機関	2009			2010			2011			2012			合計		
	開講数	受講者数	修了者数	開講数	受講者数	修了者数	開講数	受講者数	修了者数	開講数	受講者数	修了者数	開講数	受講者数	修了者数
早稲田大学 理工学術 院 先進理工学部	6 ユニット	688	444	6 ユニット	723	650	5 ユニット	673	635	5 ユニット	592		22 ユニット	2084	1729
早稲田大学 理工学術 院 大学院 3 研究科	2 ユニット	21	21	3 科目 1 ユニット	65	33	4 科目 1 ユニット	106	(52)	3 科目 1 ユニット	43		10 科目 5 ユニット	192	106
早稲田大学大学院・東 京農工大学大学院共 同先進健康科学専攻	2010 年度 から	—	—	3 科目	15	15	4 科目	24	(15)	3 科目	7		10 科目	39	30
早稲田大学大学院・東 京女子医科大学大学 院 共同先端生命医科 学専攻	2010 年度 から	—	—	3 科目	2	2	4 科目	0	0	3 科目	0		10 科目	2	2
明治大学大学院理工 学研究科 新領域創造 専攻	4 科目	41	35	4 科目	55	49	2 科目	28	(15)	2 科目	8		12 科目	124	99
お茶の水女子大学	2 科目 1 ユニット	210	177	1 科目 1 ユニット	152	131	3 科目	128	(104)	2 科目	68		8 科目 2 ユニット	490	412
お茶の水女子大学大 学院人間文化創成科 学研究科	隔年開講	—	—	1 科目	3	3	(隔年開講)	—	—	1 科目	6		2 科目	3	3
福山大学大学院 工学 研究科	2 科目	43	18	2 科目	4	4	2 科目	88	19	—	—		6 科目	135	41
東京工業大学工学部 高分子工学科	1 科目	33	31	1 科目	33	29	1 科目	31	29	1 科目	30		4 科目	97	89
東京工業大学大学院 理工学研究科 化学工 学専攻	1 科目	24	20	1 科目	22	18	1 科目	21	19	1 科目	22		4 科目	67	57
長崎大学大学院医歯 薬学総合研究科	—	—	—	—	—	—	1 科目	5	2	—	—				
合計		1060	746		1074	934		1104	890		776			3233	2568

注：2011 年度の括弧内の修了者数は半期を示す。

(2012 年 6 月 7 日現在)